

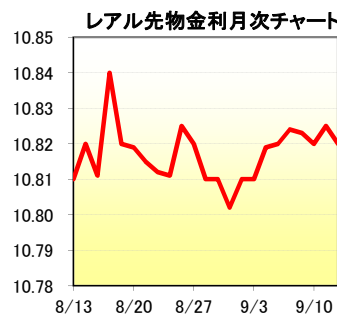
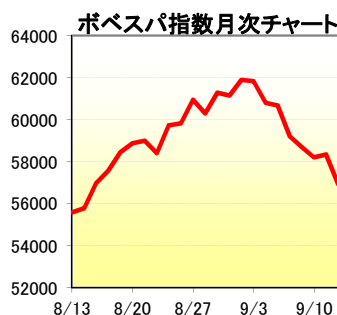
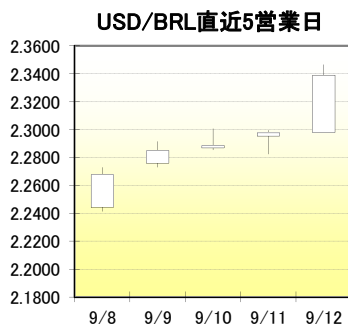
Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



1. マーケット・レート

			9月8日	9月9日	9月10日	9月11日	9月12日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2.2680	2.2850	2.2890	2.2980	2.3390	+0.0410
	USD/YEN	Spot	106.04	106.19	106.85	107.04	107.35	+0.3100
	EUR/USD	Spot	1.2895	1.2943	1.2915	1.2926	1.2963	+0.0037
	BRL/YEN	Spot	46.77	46.48	46.69	46.59	45.90	-0.6900
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1.06	1.04	1.00	0.97	0.99	+0.0220
		1Year(p.a.)	1.27	1.25	1.25	1.24	1.31	+0.0690
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10.96	10.95	10.96	10.97	11.01	+0.0406
		1Year(p.a.)	11.29	11.35	11.33	11.30	11.44	+0.1446
Stock	Bovespa		59,193	58,676	58,199	58,337	56,928	-1,409.48
Bond	CDS Brazil 5y		131.00	140.44	139.00	137.00	146.00	+9.0000
	Global 40		109.850	109.500	109.400	109.600	109.600	u.c.

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



2. 主要経済指標

3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	
経済活動(前月比)	1.00%	1.50%	-1.51%	なし
経済活動(前年比)	-1.00%	-0.23%	-2.15%	

4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は U\$1=R\$2.2440 で寄り付いた。
- 先週末に発表された8月の米雇用統計において、非農業部門雇用者数が予想を大きく下回ったことを受けてドルが軟調推移する中、レアルは週間高値となる U\$1=R\$2.2420 をつけた。しかし、米サンフランシスコ連銀が調査レポートの中で、投資家が米国の利上げペースを低く見積もっていると指摘したことから、来週のFOMCでフォワードガイダンスの変更について議論されるのではないかと懸念が広がるとドルが大幅反発した。レアルは2.24台前半から2.27台前半まで下落した。更にムーディーズがブラジルの格付け見直しを「安定的」から「ネガティブ」に引き下げるとレアルは売られ、2.29台前半まで続落した。
- 週央から週末にかけては大統領選挙の世論調査を材料にレアルが2.3000をつけたが、この水準では短期筋の利食いも出て2.28台半ばまで反発した。その後、一部の報道でシルバ候補が当選した場合、為替介入を終わらせると報道したことを受けて、レアルは再び下落に転じた。
- 週末にかけては8月の米小売売上高が前月から大幅改善したことを受けて、来週のFOMCへの期待感が再び高まり、ドル全面高となった。レアルは週間安値となる U\$1=R\$2.3460 を示現し、結局 U\$1=R\$2.3390 で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
9/15	貿易収支(週次)	Sep-14	--	-\$771M
9/15	税収	Aug	--	98816M
9/16	FGV CPI IPC-S	Sep-15	--	0.21%
9/16	CNI産業信頼感	Sep	--	46.5
9/17	FGVインフレ率IGP-10(前月比)	Sep	--	-0.55%
9/18	FIPE CPI-週次	Sep-15	0.28%	0.24%
9/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Sep	--	-0.35%
9/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Sep	--	0.14%
9/19	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	Sep	--	6.49%

6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.25ー2.38

今週の為替相場はドル全面高の展開。対するレアルは格付け見通しの引き下げもあり軟調推移となった。背景は来週 16-17 で開催される FOMC でフォワードガイダンスの文言変更があるのではないかと期待感だった。切欠となったのは週の初めに発表されたサンフランシスコ連銀の調査レポートで、投資家が米国の利上げペースを低く見積もっているとの指摘だった。市場はこの調査が FOMC の利上げに対する前捌きと捉えて、米国債利回りが上昇。ドル全面高の展開となった。ドル円は約 6 年ぶりの水準となる 107.38 まで上昇した。

来週の FOMC では景気判断やフォワードガイダンスの文言変更の有無、政策決定採決の反対票などに注目が集まっているが、期待感でこれだけ相場が動いた後で、波乱含みの展開となろう。

ブラジルサイドの材料は少ないが、シルバ候補が当選した際に為替介入を停止するという一部の見方には注意が必要であるこのところ、シルバ候補有利となればレアル買いという流れだったが、以後は風向きが変わる可能性がある。

チャートでみると、レアルは年初来高値(2.4500)と安値(2.1840)の半値戻し(2.3170)を下抜けて越えた。本日で一気に 500 ポイント弱のレアル安が進んだが、週末に向けても戻りが弱かったところを見ると、まだモメンタムは下方向にありそう。FOMC 次第ではあるが、3 分 6 の 2 戻しの 2.3610、76.4%戻しの 2.3870 のレベルが目処になりそう。逆に FOMC でハト派トーンが出てくれば、失望感からドルが売られ、レアルは 2.300 を抜けて急反発すると予想する。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したものです。その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department